

第2回 横浜市神奈川区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和7年4月16日（水） 午後1時30分から5時5分まで
開 催 場 所	神奈川区役所地下1階 機能訓練室・研究室
出 席 者	【選定委員会委員】 東田 信子 （神奈川区地域子育て支援拠点「かなーちえ」 施設長）（委員長職務代理者） 秋元 治 （神奈川区シニアクラブ連合会 副会長） 友井 恵子 （神奈川区民生委員・児童委員協議会 副会長） 奈良 公美 （神奈川区保健活動推進委員会 地区会長） 北川 有紀 （ほどがや市民活動センターアワーズ センター長） 穂坂 光紀 （税理士） 吉見 江利 （神奈川区多文化共生の会 副理事長） 【事務局】 神奈川区福祉保健センター長 伊倉 久美子 神奈川区福祉保健課長 栗山 潤一郎 神奈川区福祉保健課事業企画担当係長 野村 拓 神奈川区福祉保健課事業企画担当 赤尾 由季
欠 席 者	委員長 豊田 宗裕 （聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科教授）
開 催 形 態	一部非公開（応募団体の面接審査、指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）の選定に関する審議について非公開。なお応募団体の面接及び質疑応答は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開）（傍聴者 なし）
議 題	1 事前確認事項 2 応募団体の面接審査 （1）応募団体の面接審査 （2）本市重要政策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 3 指定候補者の選定、講評
決 定 事 項	指定管理者の候補者として、次のとおり、横浜市神奈川区長に報告することとする。 1 横浜市神之木地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人若竹大寿会 2 横浜市六角橋地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人若竹大寿会

	3 横浜市沢渡三ツ沢地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人若竹大寿会 4 横浜市反町地域ケアプラザの指定候補者 指定候補者：社会福祉法人横浜市社会福祉協議会
議 事	<u>1 事前確認事項</u> 事務局から、公募の結果延べ4団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。 ○委員会の公開・非公開 応募団体審査、指定候補者及び次点候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。(第1回委員会で審議済み) ※なお、応募団体の面接(プレゼンテーション及びヒアリング)は、面接審査を受けている団体以外の応募団体を除き公開。 ○面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局) ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・1施設に対して1団体のみの応募となっているため、最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。 ○応募団体の資格要件等について (事務局) ・資格要件を満たすこと、欠格事項に該当しないことを報告。 ・欠格事項のうち、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 <u>2 応募団体の面接審査</u> (1) 本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況、前期実績報告書、財務状況評価の説明 事務局より本市重要施策を踏まえた応募団体の取組状況について説明。 事務局より前期実績報告書について説明。 穂坂委員より財務分析結果報告書について説明。 (2) 面接審査 ア 横浜市神之木地域ケアプラザ

	(ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) ダブルケア（子育て・介護）サポートについて、従来、地域ケアプラザの地域包括支援センターと地域子育て支援拠点で連携してきたが今後の方針は。 (団体) 法人が変わっても引き続き連携して、注力していきたい。 イ 横浜市六角橋地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 自主事業について今後の方向性は。 (団体) 子ども・子育て支援は継続しつつ、児童とその保護者とも関わりを増やし、長期的な視点から地域ケアプラザが地域福祉の入り口であることの認知を広げていきたい。 ウ 横浜市沢渡三ツ沢地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 圏域内には、急な坂が多い。 アクセスが困難な方に向けての取組は。 (団体) 高齢者や子育て世帯に向けた出張相談・講座などを実施予定。 エ 横浜市反町地域ケアプラザ (ア) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (イ) 主な質疑応答 (委員) 分野を超えたネットワークの構築について。 (団体) 子育て世代の転入が多く、地域との接点が少ない人も多いように感じる。 子ども関係では、地域子育て支援拠点、保育園等と連携し、ニュースレターを発行し、地域とつながれるよう情報発信している。 3 指定候補者及び次点候補者の選定、講評 応募団体から提出された応募書類及び面接審査等をもとに評価を行い、各委員の評価結果を集計する。
--	---

(1) 横浜市神之木地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人若竹大寿会	1,243／1,600 点	1,243／915 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 指定候補者に選定した社会福祉法人若竹大寿会については、財務状況は良好です。応募団体として神奈川区に根差して成長してきた経緯もあり、地域性を活かした事業を展開できるよう、組織づくりを行っています。

(2) 横浜市六角橋地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人若竹大寿会	1,271／1,600 点	1,230／870 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 指定候補者に選定した社会福祉法人若竹大寿会については、財務状況は良好です。「断らない支援」をキーワードに、子ども・子育て支援や学生との協働、高齢者向け自主事業を実施するなど、意欲的に取り組んでいます。また、外国にルーツのある子どもの学習支援など、幅広い分野で地域と連携し、実践する行動力も評価できます。

(3) 横浜市沢渡三ツ沢地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人若竹大寿会	1,252／1,600 点	1,217／870 点
次点候補者	なし		

(審査講評) 指定候補者に選定した社会福祉法人若竹大寿会については、財務状況は良好です。圏域特性として急傾斜地が多く、地理的に地域ケアプラザへのアクセスが困難な方もいる中で出張講座を実施するなど、積極的に事業を展開しています。また、高齢者や子育て世帯はもちろん、全世代にアプローチすることで、より多くの方に地域福祉の啓発について働きかけています。

	(4) 横浜市反町地域ケアプラザ			
		応募団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
	指定候補者	社会福祉法人横浜市 社会福祉協議会	1,033／1,300 点	1,000／708 点
	次点候補者	なし		
	(審査講評) 指定候補者に選定した社会福祉法人横浜市社会福祉協議会については、財務状況は安定的です。子育て世帯の転入も多く、地域とのつながりづくりに地域ケアプラザのネットワーク構築力が期待されています。立地の良さも生かして、周辺の関係機関とも連携し、開かれた地域ケアプラザとなるよう取り組んでいます。 応募団体の得点は、いずれも最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人若竹大寿会他を指定候補者として選定することを決定する。			
資 料	<u>1 資料</u>			
特 記 事 項	(1) 審査及び指定候補者決定までの流れ			
	<u>2 特記事項</u>			
	特になし			